

## 【1】

- |       |       |       |         |       |
|-------|-------|-------|---------|-------|
| 1. ⑦  | 2. ⑥  | 3. ⑤  | 4. ②    | 5. ①  |
| 6. ④  | 7. ②  | 8. ①  | 9. ③    | 10. ③ |
| 11. ③ | 12. ① | 13. ⑤ | 14. ②・⑥ | 15. ③ |

## 【解説】

問 1. 空欄 1～3 を含む部分の和訳は以下の通り。

「長い間、人間の健康は、病気 (disease) がない状態として定義されていた (図 1)。病気の明らかな (obvious) 症状を人が持たない限り、その人は良好な (good) 健康状態だと考えられた」

問 2. 問題文の syllable は「音節」の意。金沢医科受験者は知っておくべき単語。他に vowel 「母音」、consonant 「子音」も抑えておこう。

問 3.

・空欄 6 → 空欄の前には主節が完結して存在しているので、空欄には従属節のみ可能。文法的に選べるのは従属接続詞 even though ～ で始まっている④のみ。

・空欄 7 → The + 比較級 S V ～, the + 比較級 S V ～ 構文。

・空欄 8 → 空欄を含む部分の和訳は以下の通り。

「2・3 のリスク要因を持っているということは、あなたの健康は理想を下回ることを示している—ただ『良い』というだけのことだ。」

・空欄 9 → 空欄を含む部分の和訳は以下の通り。

「複数のリスク要因の存在は、あなたの健康はすでに損なわれていることを示している」

\* 動詞の compromise には「～を損なう、傷つける」の意がある。

問 4.

・空欄 10 → 直後に this (代名詞) があって M のカタマリを構成し、その後ろに主節が続いている。よって空欄に入るのは前置詞。⇒③か⑤に絞られる。⑤の Following (～の後で) だと文意に合わない。

・空欄 11 → meet the demand of ～ 「～の要求を満たす」

・空欄 12 → 空欄を含む英文の意味は次の通り。

「これらの変化を起こすとき、ゆっくりと始めて、新しい健康習慣を一つずつ採り入れることをあなたは望むかもしれません」

問 5. <3> they を含む一節の意味は次の通り。

「彼らはより良い従業員でもある。というのも、彼らは病気が原因で休む可能性が低いからだ」

問 6. ①は第 2 パラグラフ、③④⑤は 4 パラ、⑦は 5 パラに記載あり。

問 7 第 7 パラグラフ第 1 文参照。

## 【2】

- |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 16. ⑤ | 17. ② | 18. ④ | 19. ③ | 20. ⑤ |
| 21. ① | 22. ④ | 23. ⑨ | 24. ④ | 25. ① |
| 26. ⑤ | 27. ① | 28. ② |       |       |

## 【解説】

問 1.

下線部 2→to be fair 「公平を期して言えば」。to be honest は「正直なところ」なので意味が完全に同義とは言えないが、他の選択肢は選びようがない。

問 2.

空欄 20→空所を含む一文の意味は次の通り。

「到着の 3 週間後、彼は彼ら（≒新入生）に対し、ルームメイト以外で彼らが出会った新しい人の名前を挙げるよう頼んだ」

\* 「頼んだ (asked)」よりももっと前に「出会った (had met)」のだから過去完了形。

\* other than～「～以外で」

空欄 21→空所を含む一文の意味は次の通り。

「どのように人がこのような時間を過ごすかが重要だった」

\* 自動詞の matter 「(S は) 重要である」

空欄 22→bother to V 「わざわざ V する」

問 3. 金沢医科は「MAIN VERB」を選ばせる問題が出題されるが、ここでの MAIN VERB とは「主節の述語動詞」を選べ、という意味であり、従属節（例えば when 節）の述語動詞を選ぶわけではない。つまり今回、spend は NG。「主節」「述語動詞」の意味が分からなければ遠慮なく質問に来てください。

問 5. strike O as C 「O に C であると思わせる」。下線部 6 を含む下線部の意味は以下の通り。

「打ち解けた友人関係を作るための 50 時間という時間は、私には高いハードルだと思われた」

問 6. I'm right there with him. 「私はまさに彼と同じ場所にいます」→「彼と全く同じ立場です」→「かれと全く同意見です」

選択肢⑤ I couldn't agree with more. 「私は彼に大賛成だ」

\* couldn't...比較級「今以上に...することはあり得ない→最高に...である」。ここでは「今以上に彼に賛成することはあり得ない→最高に賛成している」。よくある比較の慣用表現。

問 8. ②以外は全て第 4 パラグラフに記載がある。

## 【3】

- |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 29. ② | 30. ③ | 31. ① | 32. ⑤ | 33. ① |
| 34. ④ | 35. ③ | 36. ⑧ | 37. ⑨ | 38. ⑤ |
| 39. ② | 40. ④ | 41. ⑤ | 42. ④ |       |

## 【解説】

問 1. 下線部 1 の訳は以下の通り。

「人間はごく当然に言語がプログラミングされているので、熱い表面を触ったときに手を引っ込める本能を抑えられないのと同様に、言語を学び、使う本能を抑えられない。」

問 2.

空欄 30→空欄を含む英文の訳は以下の通り。

「この言葉を誤解すべきではない」

空欄 31→equip A with B 「A に B を備え付ける」

空欄 32→④を選んだ人も多かったはず。ただし know much about～「～についてよく知っている」という表現があり、その much が how によって前に出たと考えられる。

空欄 34→空欄を含む英文が受動態であることは即断できなければならない。①と③は能動態なので即座に消去しよう。

空欄 35→等位接続詞の for 「と言うのも～だからだ」。「言語は間違いなく真の本能ではない。と言うのもすべての言語は学ばなければならないからだ」

問 5. 正解は⑤の brain。「脳の環境」は抽象度が高くて意味としては分かりにくいですが、他の選択肢は複数形になっていたりして選べない。消去法で辿り着ける。